

京都の未来をひらく

都市再生2025



2007年、町壊しに抗した住民運動が「新景観政策」として結実し、京都の歴史的な景観と住環境が守られるはずでした。しかし、仁和寺門前や相国寺北側のホテル建設にみられるように、保存・再生とされたエリアでさえも市長権限の特例措置で規制緩和が行われています。京都市は、都市再生緊急整備地域の拡大に続き、京都駅周辺では広範囲にわたり60mへと高さ規制緩和を狙っています。日本共産党京都市会議員団は、京都自治体問題研究所に調査を委託し、4回にわたる研究会を積み重ね、報告を取りまとめました。この度、その政策研究の中心となっていた中林先生にご講演いただきます。

調査報告

講師 **中林 浩さん**

神戸松蔭女子学院大学元教授・京都自治体問題研究所理事

開発幻想に左右されない構想
低層高密・用途混合のまちへの展望
ニュータウン・郊外居住地の再生
公共資産・市営住宅の活用
文化財と景観の保全・世界遺産の充実
観光の健全な発展

日時: **5月14日(水)** 午後 **6時30分** ~

場所: **ラボール京都 第8会議室**
(四条御前西入る)

日本共産党京都市会議員団
連絡先 075-222-3728